既存デマンド交通システムへの標準仕様搭載 ｜ イツモスマイルデジタルソリューションズ株式会社

プロジェクト概要

宇和島市においては令和8年度から、様々な交通形態による交通リ・デザインを予定。標準APIを搭載したシステムの元、地域交通リソースの最大化を図り、住民等の利用者の利便性向上を目指す。本事業では導入検討しているシステムの独自APIを標準APIへ改修し、シームレスなシステム環境を構築する。

課題

- 宇和島市の交通DXにおいては、標準化・共通化された仕様を目指しているが、導入検討している本事業代表構成員のシステムに関しては、独自APIおよび都度ベンダー同士の連携仕様で構築しており、国土交通省が示す各種標準APIに則って構築を行っていない。

取組内容

- 全体取組
  - タクシー・コミバス・スクールバスを対象に宇和島市の運行ルート・時間帯・遊休時間をデータ情報を収集・分析を行い「競争・共創・協調領域」を可視化し各領域における遊休時間活用の合意形成及び管理手法を構築。予約・配車管理・マッチング機能（AI）を有したアプリ/システムと共同管理（配車・予約受付含む）センターによる共同利用体制にて実証を開始する
- 本補助金の活用は下記
  既存システムを改修し、標準仕様（API）の搭載をする。

1）予約管理標準仕様モジュール

- 乗客からの配車依頼・予約受付と共同配車システムへの送信機能を標準API対応に改修。・配車依頼作成：POST/ordersを実装し、乗客が入力した迎車地点、降車地点、予約日時、乗客情報、アプリに決済の有無等を含む配車依頼リクエストを共同配車システムへ送信※即時配車と予約配車
- DELETE/ordersを実装し、乗客がアプリ上でキャンセル操作した際に共同配車システムへキャンセル依頼を即通知

2）配車管理標準仕様モジュール

- 共同配車システムから配車状況・車両位置情報を取得し乗客のアプリ画面にリアルタイムで表示する機能を標準API対応に改修（配車情報複数取得・配車情報単一取得）

事業要件

- システム統合による業務効率の向上（共同化）

技術要件

- タクシー共同配車業務運用ガイドライン
- タクシー配車システム連携API標準仕様書

効果

- システム連携スキームの効率化
- 今後実証するライドシェア・タクシーの共同配車システム連携による配車効率の向上（ライドシェア車両の稼働率55%から65%へと向上）

事業実施自治体・エリア

宇和島市

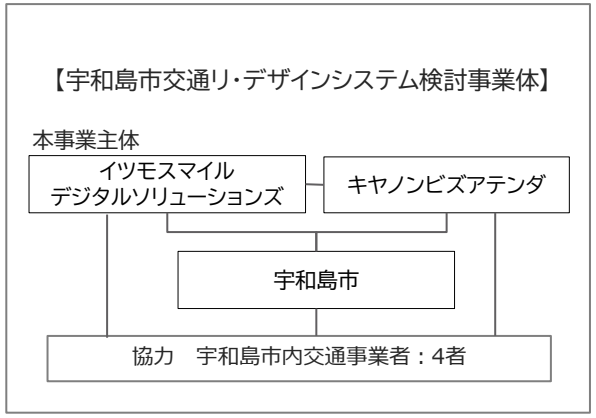
交通事業者

宇和島市内交通事業者：4者

アプリ・システム等

■ アプリ・システム
まちのクルマ（予約・配車・運行・各種データ管理）
※徳島県海陽町「ふるるんアプリ」、電脳交通の配車システムとAPI連携想定

座組



スケジュール

4～5月　要件定義/API設計/技術要件確認
6～7月　API開発・単体テスト・結合テスト
8～9月　外部アプリとのAPI実証
10月～2月　サービス実証

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.